

今日のトピック インドの経済・市場動向（2018年6月後半）

米中貿易摩擦が激化、通貨は安値圏、株式は小幅安

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	6月19日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.61	▲1.6	▲1.2	▲8.7	▲7.0
ルピー/米ドル (ルピー)	68.38	1.3	0.5	6.8	6.1
金利					
政策金利 (%)	6.25	0.0	0.25	0.25	0.0
10年国債利回り (%)	7.86	▲0.1	0.1	0.7	1.4
株式指数					
SENSEX指数	35,287	▲1.1	1.3	4.3	12.7

(注) データは2018年6月19日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式と通貨】 (ルピー/米ドル)



17/6 17/9 17/12 18/3 18/6 (年/月)

(注1) データは2017年6月19日～2018年6月19日。

(注2) ルピー/米ドルは逆目盛。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 インドルピーは年初来安値圏 米中貿易摩擦は一段と激化

- トランプ米大統領は15日、総額500億ドルに上る中国製品に25%の関税をかけると表明し、これに対し中国も同規模の対抗措置を発表しました。18日には、中国からの輸入品2,000億ドル相当に追加関税を検討するよう指示すると、中国は直ちに対抗する姿勢を示すなど、米中貿易摩擦は一段と激化しています。
- 今年の米利上げ見通しが3回から4回に修正されドル高圧力が強まるなか、米中貿易摩擦の激化も加わり、アジア通貨は対ドルで下落しています。インドルピーも軟調な展開となり、年初来の安値圏にあります。

ポイント2 インド株式市場は高値圏維持 新興国市場のなかでは相対的にしっかりした動き

- 米中貿易摩擦の再燃を受けて世界の株式市場が下落するなか、19日のインド株式市場は続落しました。ただし、主要株式指数のSENSEXは19日時点で前月末比ほぼ横ばいと高値圏を維持しており、新興国市場のなかでは相対的にしっかりした動きとなっています。
- 6月は、医薬品株が大きく上昇し、相場を支えています。米食品医薬品局（FDA）から検査を受けていた主要企業的主力工場の米国向け出荷が再開される見通しになったことが好感されました。

今後の展開 米中の深刻な貿易戦争は避けられる見通し

- 米中両国は、今後も貿易摩擦問題を巡り激しい攻防を繰り返すとみられますが、最終的には落としどころを探り妥協点を見出すことで、深刻な貿易戦争は避けられると思われます。株式市場は、中期的にはインド経済の成長加速を背景に底堅い展開が期待されます。インドルピーは、インド準備銀行が前倒しで利上げを行うなど、機動的な金融政策運営を行っていることも支えとなり、一段の下落には歯止めがかかるとみられます。

ここも
チェック! 2018年6月8日 インドの経済・市場動向（2018年6月前半）
2018年6月4日 『インドの実質GDP』は+7.7%成長

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。